

平成 27 年度 法人本部 事業報告

福祉事業を取り巻く情勢は日々変化しており、厳しい経営状況が続いていますが、顧客満足度のアップを図ることが施設運営の基本であることを認識し、今後とも、経費の節減を図るなかで、職員の待遇改善、優秀な人材の確保、育成に努めるとともに、ご利用者ニーズに適切に対応し地域の福祉向上に努めたいと考えています。

【理念】

みつめあう目と目 つなぎあう手と手 ふれあう心と心 人と人の絆を大切に

【年間目標】

- ①地域に密着したトータルケアを行う
- ②経費削減対策を継続し検討する
- ③第三者評価を受ける
- ④働きやすい職場環境づくりをし、退職者を減少させる

【実践報告】

- ①地域に密着したトータルケアを行う

社会福祉法人は社会福祉事業の中心的な役割を果たす事から、地域住民の目に見える貢献が必要であり、又これらの事業をアピールし、社会福祉法人の存在の意義を示し、広く地域の理解を得ていく為に積極的に取り組んだ。

- ②経費削減対策を継続し検討する

消費エネルギー削減の取り組みを始めとし、全ての経費について削減に努めた。特にガス設備機器の研究・導入により水道光熱費の節減を図り大きな成果を得た。

- ③第三者評価を受ける

神戸市老人福祉施設連盟へ第三者評価の依頼を予定していたが、申込時期を逸してしまい、27年度中の実施が不可となった。28年度速やかに申込をし、受審する予定。

- ④働きやすい職場環境づくりをし、退職者を減少させる

職員が生き甲斐、やり甲斐が感じられる働きやすい職場環境を整備するため、定期的に意識調査・面談を行った。また、団体で取り組むことにより生まれる感動や達成感が、仲間としての絆を深めると共に、職員としての資質の向上を図ることを目的として、フットサル部・マラソン部・ゴルフ部等のクラブ活動を起ち上げた。